

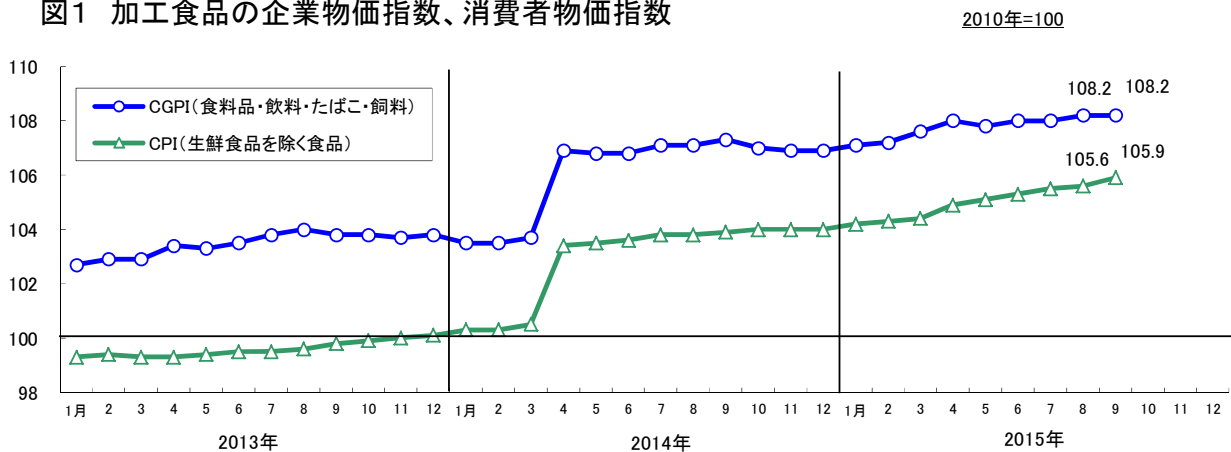
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、108.2と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同105.9で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

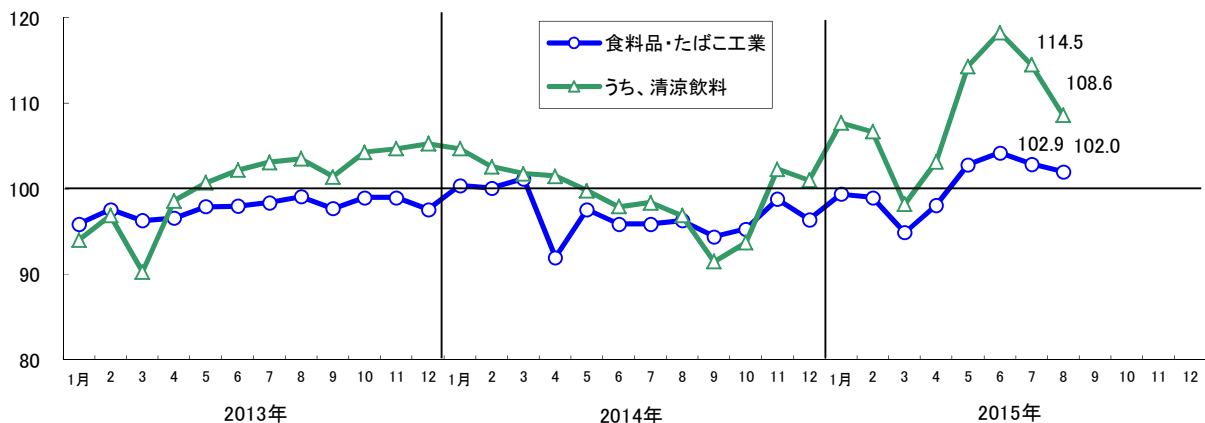
2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比で前月並み、うち、清涼飲料は同やや低下

8月の食料品・たばこ工業の生産指数は、102.0で前月比▲0.9%と前月並みとなった。

うち、清涼飲料は108.6で前月比▲5.2%とやや低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



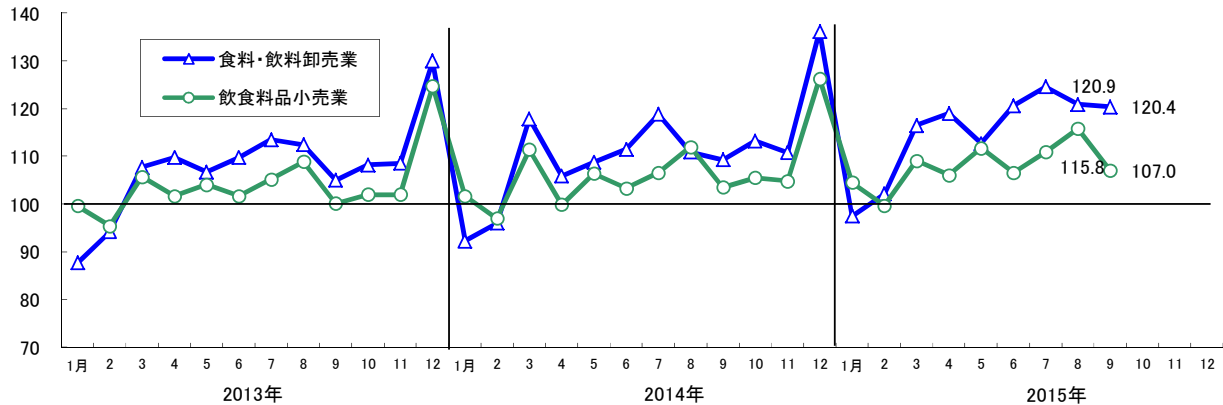
資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度増加、小売業販売額は同やや増加

2015年9月の食料・飲料卸売業の販売額指数は120.4で対前年同月比10.2%とかなりの程度増加した。飲食料品小売業の販売額指数は107.0で同3.4%とやや増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



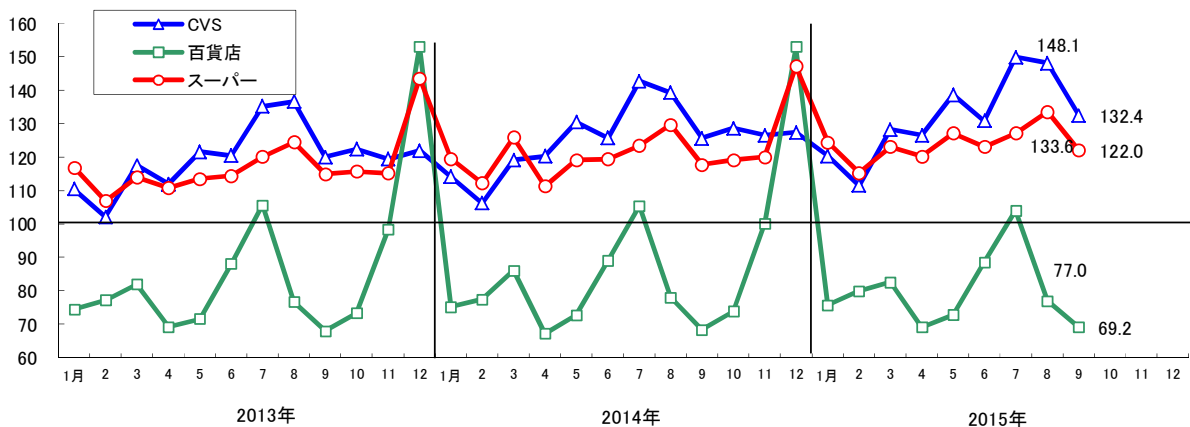
資料:経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS及びスーパーは対前年同月比でやや増加、百貨店は同わずかに増加

2015年9月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは132.4で対前年同月比5.4%とやや増加、スーパーは122.0で前年同月比3.7%とやや増加、百貨店は69.2で前年同月比1.1%とわずかに増加で、コンビニエンスストア、スーパーは堅調に推移し、百貨店は2015年4月以来の増加に転じた。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。